

「徐脈性不整脈(ペースメーカー移植術)」入院診療計画書

様

特別な栄養管理の必要性 (有 ・ 無)

主治医:

担当看護師:

患者様サイン欄:

経過	入院日	手術前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4~5日目	術後6~7日目
治療について (手術日・退院日など)									
安静度 リハビリについて	病棟内自由です。 体外式ペースメーカーを挿入しているときはコードに注意してください。 心電図モニターをつけることがあります。			ベッドで寝たままとなります。 心電図モニターをつけます。	病棟内自由です。				
食事について	常食になります。 状況により減塩食やカロリー制限食になります。		手術前の食事は検査に合わせて制限がありますので看護師がお知らせします。	検査後より飲水は可能です。 食事は2時間後より可能です。 植え込み後の食事は上半身を30度起こします。	常食になります。 状況により減塩食やカロリー制限食になります。			食事時手術側の肩を動かさないように注意してください。	
薬剤について (点滴・内服など)	持参薬を確認します。 薬の種類によっては一時中止することがあります。眠れない時は安定剤を飲むことができます。		手術前から点滴を行います 抗生剤の点滴を行います。 中止薬以外の薬を飲んでください。	抗生剤の点滴を行います。(2回/日) 痛みがある時は鎮痛剤を飲むことが出来ます。					薬剤師より退院後の薬の説明があります。
検査について	レントゲン、心電図、血液検査があります。			植え込み後にペースメーカーの作動を確認します。	ペースメーカーの作動を確認します。 レントゲン、心電図、血液検査があります。				退院前にペースメーカーの作動を確認します。
処置について (ガーゼの交換など)	検温を行います。	必要時、腿部つけ根部分の除毛を行います。 T字帯とバスタバンドを用意して頂きます。	手術前に尿の管を入れます 手術着に着替えます。	植え込み後の肩・腕をバスタバンドで固定します。 (動かさないように気をつけてください。) 術後の観察を行います。	医師による傷口の観察があります。 必要時消毒を行います。				
清潔について (シャワー・入浴など)	シャワー浴ができます。 体外式ペースメーカーを挿入しているときは、タオルで体を拭きます。				看護師がタオルで体を拭きます。			医師の指示で下半身シャワーまたはシャワー浴ができます。	
排泄について				排泄はベッド上で行います。	尿の管を抜きます。 排泄時はトイレまで歩けます。				
患者さん及びご家族への説明	医師から手術の説明があります。 手術の同意書を提出していただきます。 埋め込み型ペースメーカー手術について説明します。 不安に思っていることは看護師にお聞きください。			傷の痛みや熱感などの症状がありましたらお知らせください。	医師により検査結果、手術についての説明があります。自己検脈の必要性方法について説明します。 6ヶ月は手術側の肩は肩以上上げないでください。6ヶ月は就寝時はバスタバンドをつけてください。		日常生活の注意事項を説明します。	医師からペースメーカー手帳をお渡しします。 次回受診日の説明とペースメーカー外来について説明します。	

注1) 病名等は、現時点で考えられるものですので、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。

注2) 入院期間、表記の日時については現時点での予定です。

注3) ご質問等ございましたら、お気軽にスタッフまで声をかけて下さい。